

ほっぽ

北歩くんが行く



交流が広がる分科会



生活の絆が深まる分科会



文化が花開く分科会



恵み豊かな環境が持続する分科会



元気な産業が興る分科会



北播磨の魅力発信は
僕にお任せ!



交流が広がる分科会



生活の絆が深まる分科会



文化が花開く分科会



恵み豊かな環境が持続する分科会



元気な産業が興る分科会



郷土料理プロジェクトチーム

交流が広がる分科会

～「まちむら交流」で活力を育む地域をめざします～

北播磨の魅力を内外へ発信

地域を学ぶ講座「子午線物語」開催

活動方針を「子午線物語」とネーミングし、北播磨を南北に貫く東経135度「子午線」周辺の魅力を発信することをテーマに活動を展開しました。その集大成として、にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」で子午線研究家の吉野健一氏を講師に招いて講演会を開催しました。当初令和3年4月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令のため延期するなど、困難がありました。奇しくも2021年は、日本標準時子午線が制定されて135年後にあたり、東経135度に位置する、にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」で講演会が開催出来て感慨深いものがありました。(令和3年11月23日(火・祝))



「北条鉄道」を活用した交流事業の提案

令和3年度は「北条鉄道」を活用し、都市との交流拡大、公共交通の利用促進を目指した交流事業等を企画、自治体や関連団体に提案し、運営に参画することを目指して活動しました。

分科会のビジョン委員が検討した企画を北条鉄道社員に提案する会議を開催し、婚活イベントや車両を使った結婚式の企画などには、実現に向けた前向きな意見交換となりました。

(令和3年10月27日(水))

「鶉野飛行場跡」見学

北条鉄道法華口駅が最寄り駅となる「鶉野飛行場跡」を見学しました。

跡地周辺は多くの戦争遺跡が残る大変貴重な場所です。残された歴史から、戦争の悲惨さなど、世界平和を未来に伝える地として、訪れてほしい場所です。

(令和3年8月25日(水))



「北条鉄道」体験乗車

全線1日フリーきっぷを利用し、北条町駅から粟生駅まで体験乗車しました。1日乗り降り自由なため、播磨横田駅で下車し駅舎兼ギャラリーを見学したり、法華口駅では、大勢の中高年ハイカーが乗車し、観光資源として活用されていることなどを実感しました。(令和4年1月20日(木))



生活(くらし)の絆が深まる分科会

～家族・地域・生活(くらし)の絆を深め、絆の力で安全・安心を支える地域をめざします～

災害弱者を地域で支援

「北播磨おもいやり帳」

「北播磨おもいやり帳」は、北播磨地域で生活する外国人が、災害時に安全に避難したり、大切な命を守ることができるようにという思いで作成した、日本人とのコミュニケーションツールです。

A4サイズの用紙1枚に、災害時などに役立つ16の情報が「やさしい日本語」で記載しており、折りたたむと運転免許証よりも少し小さい、携帯しやすい16ページのおもいやり帳になります。

「意見交換会」

「北播磨おもいやり帳」の作成のため、北播磨地域内の国際交流協会や多可町生涯学習課の職員の方々と意見交換を行いました。

記載する情報だけでなく、おもいやり帳の大きさ、使用する言語など多くの意見をいただき完成形がイメージできるようになりました。作成過程においても様々なアドバイスをいただきました。(令和3年10月29日(金))



「やさしい日本語」

北播磨には、多くの国の外国人が生活されています。どこの国の方にも対応できるように、言語は「やさしい日本語」で記載しました。

「やさしい日本語」については『入門・やさしい日本語』認定講師の栗山こまよさんに協力いただきました。

「完成！」

分科会のビジョン委員と多くの方々の思いの詰まったおもいやり帳が完成しました。外国人と日本人とのコミュニケーションツールとして活用され、お互いの結びつきが深まることを願います。

多くの外国人に活用していただくために、国際交流協会に協力いただきました。



「みらいえ DE 防災体験」

西脇市茜が丘複合施設Miraieで「みらいえDE防災体験」が開催され、災害の時にガラスから足を守る『新聞スリッパ』作りのワークショップを実施し、防災意識の向上を図りました。

(令和3年3月27日(土))



文化が花開く分科会

～芸術・文化を暮らしに活かす地域をめざしています～

郷土の歴史と伝統文化「祭り」による北播磨の魅力発信

「北播磨郷土歴史セミナー」を開催！

郷土の歴史を伝承するため、北播磨地域各市町の歴史資料館等の協力を得て、郷土歴史セミナーと体験学習を6回シリーズとして開催しました。小学生も参加できるように内容を工夫し、多くの方に参加いただきました。



多可町



西脇市



加西市



加東市



小野市



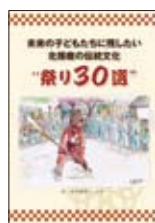
三木市

未来の子どもたちに残したい北播磨の伝統文化「祭り30選」

この本は、「伝統文化」をどうすれば未来の子どもたちに残すことができるかを考えて作りました。各地で昔から行われている祭りは、子どものころから親しみ、そして楽しみにしてきた文化です。その大切な祭りを、未来の子どもたちにつないでいきたいという思いで、各市町から5つずつ選定し、ビジョン委員が描いた水彩画を挿絵にして、心を込めて1冊にまとめたものです。

冊子はビジョン委員が小学校等へ直接持参し、思いを届けました。

「祭り30選」は「HYOGO ebooks」で閲覧、「北播磨県民局ビジョン委員会ホームページ」でダウンロードできます。



HYOGO ebooks



北播磨県民局ビジョン委員会HP

ファミリーコンサート

北播磨ゆかりの音楽家によるファミリーコンサート(ミュージックベル・オカリナ・ピアノ)は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

(令和4年1月29日(土))

恵み豊かな環境が持続する分科会

～北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域をめざします～

美しい自然環境を次世代へ継承するために

西脇市杉原川フラゴミ調査

四方を山に囲まれている北播磨で「海ごみ」?と思われるかもしれませんが、海ごみの7割以上は陸由来です。世界的な問題の海ごみ・プラごみの現状や削減のための取組を学び、北播磨の状況を調査するため、西脇市杉原川の豊川橋から蓬菜橋間の両岸でプラごみ調査を行いました。

橋の上から見た感じではごみは少なそうでしたが、川岸に降りてみると結構多くのごみがあり、中には家庭ごみを詰め込んだ黒いビニール袋や、工事用の大きなゴムマットのようなごみもあり驚きました。また、コロナ禍を象徴するようなマスクごみも多く見られました。

レジ袋などは原形を残さずに木に引っ掛ったものが多かったので、おそらく上流から流れてきたものだと思います。(令和3年7月24日(土))



ワークショップ「新聞エコバッグ」作り

西脇市茜が丘複合施設Miraieで開催された「みらいえDE防災体験」で、簡単に作れて丈夫な『新聞エコバッグ』作りのワークショップを実施し、プラごみ削減への意識喚起を図りました。(令和3年3月27日(土))



フラゴミ調査を発信♪



あびき湿原観察会

令和2年8月に続く2回目の観察会です。あびき湿原は、地域住民を中心にボランティアによる保全活動が活発で、たとえば湿原にある腐った木道の修繕や、地元の小学生がギフチョウの幼虫の食草・ヒメカンアオイを育てて湿原に移植するなど、貴重な生態系を着実に将来に伝えるための様々な取組が行われています。

また、兵庫県の絶滅危惧種(レッドリスト)に記載されている「ニホンアカガエル」も見ることができ、保全活動の取組を肌で感じました。(令和3年10月5日(火))



元気な産業が興る分科会

～多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域をめざします～

安全・安心な「農」と「食」の普及と北播磨地域の「農」の活性化をめざして

【オンラインおはなし会】体がよろこぶ食べ物って？～北播磨の豊かな自然と共に考える～

「北播磨の食材を味わいながら未来を考えるおはなし会」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「オンラインおはなし会」に変更して開催しました。

はじめに、鈴木形成外科院長の鈴木晴恵先生に「健康長寿のための最良の食事とは？」と題し、講演いただきました。

続いて、一般社団法人Lauai代表理事の西村芳子さんと加東市の古民家シェアハウスを運営されている牛飼勇太さんと交えて、「北播磨の食と職を考える」と題し、豊かな北播磨の自然を活かしていくにはどうすればいいのか？人々の暮らしに必要な食を、職として発展させていくためのヒントは？等のトークセッションをしました。

講演で「食べ物によって人生が変わる」というお話がありました。体に良い食べ物は何かをしっかりと見極め、皆さんが毎日の食事を通して『健康で豊かな人生』を過ごしてほしいという思いを強く持ちました。(令和4年2月13日(日))



オーガニックのすすめ講座

「HYS低温発酵有機資材・保田ぼかし」を考案された神戸大学名誉教授の保田茂氏と、「コウノトリ育む農法」の確立普及に尽力された兵庫県農政環境部農林水産局環境農業参事の西村いつき氏に、人にも環境にもやさしい有機農業について講演いただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場の定員を絞り、オンライン配信を併せて行いました。

保田先生からは「土」がいかに大切かを、西村先生からは「コウノトリが育つような安全安心な農業」が次世代の子どもたちを健康に育てるということを学びました。

(令和3年3月5日(金))



保田先生



西村先生



「保田ぼかし」を作ってみよう

環境にやさしく安全・安心で、更においしい有機野菜を多くの人々に普及するために、分科会の研修として保田ぼかしづくりを実践しました。(令和3年9月2日(木))



郷土料理プロジェクトチーム

～地元の食材を活かして郷土料理を次世代に残す!～

北播磨の郷土料理等のレシピを紹介

分科会の枠を越えて集まったビジョン委員による「郷土料理プロジェクトチーム」が取り組んできた「北播磨郷土料理レシピブック」が完成しました。令和2年秋のメニュー検討会からスタート。子どもの頃に食べた懐かしい郷土料理や、北播磨の特産品を使った“新しい郷土料理”など、数多くのメニューを提案し、四季を代表する“北播磨らしい”料理を見つけ出し調理しました。

北播磨の穏やかな風土が生み出した農産物や、それを生かした郷土の味を次世代に継承するため、四季折々の料理と播州百日どりや山田錦の特産品を使った新たな料理のレシピブックになっており、北播磨の恵みを楽しめる1冊です。

レシピブックは、「HYOGO ebooks」で閲覧、「北播磨県民局ビジョン委員会ホームページ」でダウンロードできる他、「北播磨県民局北播磨channel」では、楽しい動画で作り方を紹介しています。



閲覧

[HYOGO ebooks]



ダウンロード

[北播磨県民局
ビジョン委員会
ホームページ]

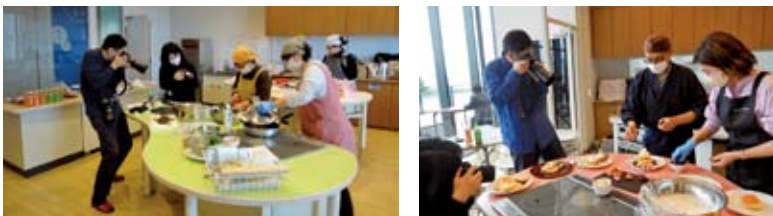


動画

[北播磨県民局
北播磨channel]



地域の方の協力や料理研究家のアドバイスのもと大切に引き継ぎたいふるさとの味を再現しました。



♪動画♪撮影・編集全て手作り



「山田錦」の米粉で“フォー”や“餃子”もつくりました。



北播磨地域ビジョン活動報告会

「北播磨地域ビジョン活動報告会」を小野市うるおい交流館エクラで開催しました。
「ひょうごビジョン2050(案)」、「北播磨地域ビジョン2050(案)」の説明の後、各分科会(交流・生活・文化・環境・産業)の活動報告、郷土料理プロジェクトチームによるレシピブック完成の報告を行いました。

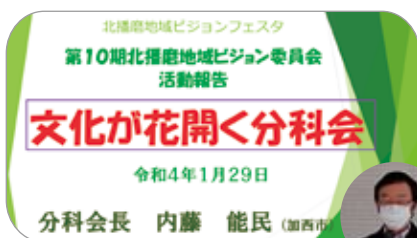
令和2年4月にスタートした第10期北播磨地域ビジョン委員会の活動は、最初からコロナ禍で先が見えない状況で活動が制限されてきましたが、工夫を凝らして様々な取組を展開してきた2年間は、過去の活動と遜色ない充実した実践活動となりました。

活動報告会の様子は「北播磨県民局北播磨channel」で配信しています。(令和4年1月29日(土))

北播磨県民局
北播磨 channel



交流が広がる分科会



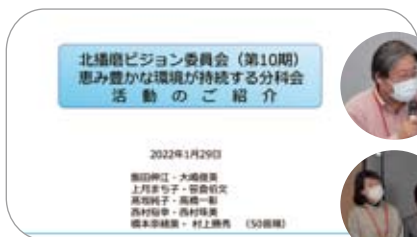
文化が花開く分科会



元気な産業が興る分科会



生活の絆が深まる分科会



恵み豊かな環境が持続する分科会



郷土料理プロジェクトチーム



第10期北播磨地域ビジョン委員会 委員長 山本 和樹

5市1町からなる「北播磨」。

“ひょうごのハートランド”を合い言葉に、10期20年間、多くの方々が様々な活動を、仲間と共に実践をしていただきました。人口減少、経済の縮小、地域力の低下など様々な課題に対し、住民自らが考え学び繋がり実践するビジョン委員会活動は、どの期においても常に活力ある北播磨地域の創造をめざし、未来に輝く地域を次世代へつなぐ役割を担っていたと考えます。今期はコロナ禍という大きな混乱の渦中での活動でしたが、どの分科会も活発で熱心な活動をいただきました。残念ながら、20年間の活動をもってビジョン委員会としての活動は幕をとじます。しかしながら、新たなる出会いはこれからも仲間として育まれるように、この20年間の活動が次世代への「希望」や「夢」「誇り」につながる活動であり、それは今後も繋がっていくと信じています。

北播磨地域が“こちよ未来の暮らし”を目指し、いつまでも「ひょうごのハートランド」であるよう祈念申し上げあいさつとさせていただきます。



発行 令和4年3月

北播磨地域ビジョン委員会 (北播磨県民局総務防災課ビジョン担当)

〒673-1431 加東市社字西柿1075-2

TEL (0795)42-9513 FAX (0975)43-0169

ホームページ

北播磨地域ビジョン委員会

検索

